

天皇賜杯 第75回日本学生陸上競技対校選手権大会

要項

1. 主 催 社団法人 日本学生陸上競技連合
2. 運営協力 関東学生陸上競技連盟、神奈川陸上競技協会
3. 協 賛 ミズノ株式会社
4. 協 力 シチズン時計株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、大塚製薬株式会社
5. 期 日 平成18年6月9日(金)・10日(土)・11日(日)
6. 場 所 日産スタジアム
7. 競技種目
男子22種目
100m 200m 400m 800m 1500m 5000m 10000m 110mH 400mH 3000mSC
4×100mR 4×400mR 10kmW 走高跳 棒高跳 走幅跳 三段跳 砲丸投 円盤投
ハンマー投 やり投 十種競技

女子21種目
100m 200m 400m 800m 1500m 5000m 10000m 100mH 400mH
4×100mR 4×400mR 10kmW 走高跳 棒高跳 走幅跳 三段跳 砲丸投 円盤投
ハンマー投 やり投 七種競技
8. 出場資格
 - 1) 平成18年度(社)日本学生陸上競技連合登録競技者に限る。
 - 2) 平成17年1月1日より申し込み期日前日までに、別紙の標準記録に達した者で以下の条件を満たした場合は1校につき3名まで出場できる。
 - 3) a. 各種目、当該年度の地区IC優勝者および前年度の北日本IC、西日本IC優勝者と標準記録Bに達した者1校1名(1チーム)まで出場できる。(同校に地区IC優勝者、北日本IC・西日本IC優勝者と標準記録Bに達した者がいた場合は、いずれか1名とする。)
b. a項に加え、標準記録Aに達した者がいれば、更に、2名まで出場できる。競歩については、標準記録Bに達した者は更に、2名まで出場できる。(下図参照のこと)

1) 競歩以外の種目

B			
B	A		
B	A	A	
	A		
	A	A	
	A	A	A

2) 競歩

B		
B	B	
B	B	B

地区ICの優勝者はB標準突破者と同様の扱いとする。

c. リレーについては平成18年度登録競技者の編成による記録でなければならない。

 - 4) 4×100mR、4×400mRは、1校1チームとし6名連記できる。
 - 5) 個人の出場種目数の制限はない。
9. 参 加 料 出場者1種目1名につき2000円、リレーは1チーム3000円とする。
10. 申込期日 平成18年 月 日(地区学連締切日)
11. 申込方法
 - 1) 各大学は、地区学連の指定期日までに下記の書類を整備の上、地区学連まで申し込むこと。また、FAX、電話等による申し込みは一切受け付けない。

2) 地区学連は、加盟大学の書類を取りまとめの上、平成 18 年 5 月 29 日(月) 12 時まで大会事務局に申し込むこと。(必着)

申込書類	エントリー入力シート 混成競技エントリー入力シート リレーエントリー入力シート 種目別参加人数表	} エントリーファイルに内在 FD または CD-R と印刷したもの(各 1 部)
------	---	--

3) 参加料は、申し込みと同時に納入すること。受領書は各地区学連のものとする。

4) 送り先

〒151 - 0053 東京都渋谷区代々木 1-58-11 中沢ビル 2 階

社団法人 日本学生陸上競技連合 宛

TEL 03 - 5304 - 5542

FAX 03 - 5304 - 5569

12. 得点方法 各種目とも、1 位—8 点、2 位—7 点、3 位—6 点、4 位—5 点、5 位—4 点、6 位—3 点、7 位—2 点、8 位—1 点 とする。

13. 式典 開会式 6 月 9 日(金) 11 時
閉会式 6 月 11 日(日) 競技終了後

14. 表彰 男子総合優勝校には天皇賜杯、女子総合優勝には秩父宮妃杯を授与する。

15. 監督・代表者会議 平成 18 年 6 月 8 日(木) 15 時より日産スタジアム内会議室にて行う。
プログラム、ナンバーカード他関係書類を交付し、注意事項連絡、プログラム訂正を行う。指導責任者は必ず出席のこと。なお、この会議において棄権を申し出た場合はこれを承認する。

16. 宿泊 宿泊についてはトップツアー(株)が斡旋するので、希望者は別紙宿泊要項を参照のこと(所属学連に問い合わせのこと)。

17. 注意事項

- 1) すべての競技は平成 18 年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。
- 2) やむなく棄権する場合は棄権届を提出すること。但し、届けた種目に限り棄権とする。
- 3) 各大学の部長(1 名) 監督(1 名) コーチ(若干名) マネージャー(エントリー選手 10 名につき 1 名) トレーナー(本連合が認めた者) および選手は本連合が定める ID(代表者会議において配布)を着用のこと。
- 4) 用器具は、主催者の用意したものを使用する。但し、棒高跳用ポールは各自で用意し、各自の責任において輸送すること。やりは各自で用意してもいいが、その場合も各自の責任において輸送すること。ポールは競技開始前に跳躍場、やりは招集時刻 1 時間前に器具庫で各々検定を受けて、許可されたものでなければ使用できない。
ポールの送り先
〒222-0036 神奈川県横浜市港北区小机町 3300
財団法人 横浜市スポーツ振興事業団 日産スタジアム 宛 TEL 045-477-5000
- 5) 計時はトラック競技全種目電気計時(1/100 秒)で行う。
- 6) 5000m、10000m、競歩の給水については天候に応じて主催者が水とスポンジを用意する場合がある。
- 7) 練習は未定
- 8) 競技中に発生した傷害、疾病についての応急処置は主催者側で行うがそれ以後の責任は負わない。
- 9) 各大学は開・閉会式の際、部旗を 1 旗用意すること。なお、優勝校(男子、女子)は校歌を吹奏し部旗を掲揚するので準備しておくこと。

18. その他 参加者は健康保険証(コピー可)を持参のこと。